

患者さんと病院を「つなぐ」情報誌

つなぐ
TSUNAGU

O t s u C i t y H o s p i t a l

vol.1 平成29年
創刊号

ご自由にお持ちください



Contents

理事長 あいさつ	1
特集 -シリーズ「がん」- 手術支援ロボット`da Vinci`による手術	2
ハイ!こちら外科です! 外科(外科・消化器外科・乳腺外科)のご紹介	3
病院探訪 ~そこが知りたい~ 放射線治療はどこがすごい?	4
診療科・部署紹介: 救急外来 ERおおつ/リハビリテーション部	5

Topics: 健診センター/緩和ケア病棟	7
栄養部 おすすめ献立	9
チーム医療~「チームYUKETSU」結成	10
院内コンサート Hospital concert	10

地方独立行政法人市立大津市民病院

ご寄附のお願い

みなさまのご寄附を
医療機器の整備、療養環境の改善に
活かします!

地方独立行政法人市立大津市民病院では、個人さまや法人・団体さまなどからのご寄附を受け付け、病院の運営に活用させていただきます。みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

寄附募集概要

- 寄附金の使途…… 医療機器の整備、施設や療養環境の改善
- 申込方法…… 当法人ホームページ「ご寄附のお願い」バナーより「寄附申込書」をダウンロードいただき、必要事項をご記入の上法人事務局経営管理課財務係にお申し込みください。
※詳しくは、当法人ホームページ「ご寄附のお願い」バナーをご覧ください。
- 優遇措置…… 当法人は、「特定公益増進法人」に該当します。
当法人への寄附金は、税制上の優遇措置が受けられます。

お問い合わせ先

地方独立行政法人市立大津市民病院 法人事務局 経営管理課 財務係
TEL:077-526-8106(直通) メール:och1010@och.or.jp

編集後記 (病院広報誌創刊号)

当院は地方独立行政法人という新たな経営形態を選択し新たなスタートを切りました。このことを契機に何か新しいことを始めたい!もっと当院をアピールしたい!と考えていた折、当院には広報誌がないことにふと気づきました。広報誌を作りたい!いざ作り始めてみると、あれも載せたい、これも載せたい、、、皆さんにお知らせしたい情報が意外や意外たくさんあることに我ながら驚きました。

今後、本誌にて順次取り上げていきたいと思っております。まずは創刊号、手にとっていただき本当にありがとうございます。



地方独立行政法人
市立大津市民病院
〒520-0804 大津市本宮二丁目9番9号
TEL:077-522-4607 FAX:077-521-5414
https://www.och.or.jp/

—シリーズ「がん」—

手術支援ロボット "da Vinci®"による手術



大津市民病院泌尿器科
医長
増井 仁彦



行っています。
現在泌尿器科常勤医師は4名で、うち3名が腹腔鏡手術技術認定医かつロボット支援腹腔鏡下手術の術者資格を有しており、七里部長はロボット支援腹腔鏡下手術の指導医資格も有しています。医師全員で常に質の高いロボット支援腹腔鏡下手術を遂行できるよう学会発表や講演も含めて積極的に活動しています。前立腺癌や腎癌を含め、泌尿器科の病気で心配な患者さんは気軽にご相談ください。これまでも開業の先生方から多数の患者さんを紹介いただいておりますので、今後ご理解をいただけました先生方から対象となる患者さんをさらにご紹介いただければ幸甚に存じます。



待できます。我々としては今まで非ロボット支援腹腔鏡下手術で多数経験してきた上記術式がロボット支援腹腔鏡下手術に移行することになり、患者さんにとっても手術支援ロボット"da Vinci®"による手術を受けていただくメリットが大きいと考えています。

RALPについては制癌性向上の追及だけでなく術後尿禁制や性機能といった機能温存手術にも積極的に取り組んでおり、これまでClavien-Dindo分類GradeⅢ以上の重篤な合併症は経験していません。

近年、4cm以下の小径腎癌に対する腎部分切除術は腎機能保持において有用であり、さらに制癌性においても全摘除術と同等であることが示され、当院でも以前より非ロボット支援下腹腔鏡手術で行ってきました。現在はRAPNIにより3D立体画像を見ながら多関節鉗子を駆使して自由な角度で腎の切除縫合が可能となり、部分切除の際の一時的な腎血流遮断時間や部分切除後の腎実質縫合も短時間でできるメリットがあります。特に、非ロボット支援腹腔鏡下手術で難易度の高かった「腎門部・上極付近の腫瘍」「埋没型の腫瘍」においても、小径腎癌でロボット支援腹腔鏡下手術の適応と判断される症例に対しては積極的に

昨今世界中で手術支援ロボット"da Vinci®"を用いた様々な手術が行われています。現在日本国内での保険適応となっているロボット支援手術は腹腔鏡下前立腺全摘除術(RALP)、腹腔鏡下腎部分切除術(RAPN)のみです。当院ではRALPを2014年6月より、RAPNを2015年5月より開始し、2017年7月の時点でそれぞれ130例、20例の実績があります。



当科の大きな特徴は2005年より以前に行われていた開放手術の大半を腹腔鏡下手術に移行したため、腹腔鏡下手術症例の多いことです。ロボット支援腹腔鏡下手術のメリットとして、①体内に挿入するロボットの「手」が多関節であること、②術者が3D立体画像モニターを見ながら手術を行えること、③術者の手ぶれ防止機構がついていること、が挙げられます。このため非ロボット支援腹腔鏡下手術に比してより「非常に繊細な操作が正確に可能」となり、出血や周囲組織損傷が少なく周術期合併症の軽減が期

市立大津市民病院 病院広報誌

理事長 あいさつ



市立大津市民病院 理事長
片岡 慶正

大津市民病院は、平成29年4月1日より『地方独立行政法人市立大津市民病院』として、新たな一歩を踏み出しました。

今から未来～今後も、明るく、元気な「市民とともにある健康・医療拠点」であり続けるために、医療の質はもちろんのこと、経営の質を向上させ、プロアクティブな視点から持続可能な病院創りに努めてまいります。

法人の名称に「市立」という文言があるとおり、経営形態は変わりますが、公立病院であることには何ら変わりはありません。

これまで地域に根ざして積み重ねてきた「信頼」をさらに向上させ、地域医療支援病院として、急性期医療の中核病院としての責務を果たし、地域のみなさまへ「最適な医療を、最適なときに、最適なかた

ち」で提供してまいります。

さて、このたびの地方独立行政法人化に際して、当院の歴史と先達の歩みについて改めて紐解いてみたところ、今から遡ること118年前の明治32年、伝染病患者の収容所として運営されていた県立避病院にそのルーツがあることが新たに判明しました。

当時の劣悪な医療現場で、長年にわたって伝染病治療に尽くしてこられた先達の苦悩と責務感の強さに、ただただ敬服するばかりであり、歴史の中で常に時代変化に対応し続けてきた結果としての「今がある」ことを学び直させていただきました。

医療環境の変化に迅速かつ柔軟に対応できる地方独立行政法人のメリットを十分に活かし、患者さんの心を中心にした「治し支え

る医療」を提供してまいります。

「医療は人なり、病院は人なり」です。「地域になくはならない病院」として、また「いざというときにこそお役に立てる病院」として、当院をご利用いただく患者さんやご家族のみなさんのみならず、当院で働くスタッフからも「選ばれる病院」であるべく、地域のみなさまと双方向的な「顔の見える連携」を強化して、職員一心を一つにさらなる努力を重ねてまいります。

これからも、これまでと変わらぬ温かいご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。『市民とともにある健康・医療拠点』としての新生『地方独立行政法人市立大津市民病院』を、どうぞご利用下さい。

写真：昭和23年8月開設の大津市立病院(昭和25年4月頃撮影)
(大津市歴史博物館蔵)
出典：新修大津市史(上)、大津市広報(大津市市政情報課保存)、
市民病院35周年記念誌



写真：昭和28年頃、病棟増築後の大津市国民健康保険病院
(大津市歴史博物館蔵)
出典：昭和30年1月10日発行「大津の展望 昭和29年版」



写真：昭和27年頃、大津市健康保険病院の増築工事風景(大津市歴史博物館蔵)
出典：市民病院35周年記念誌

ハイ!こちら外科です!

外科(外科・消化器外科・乳腺外科)のご紹介



はじめまして。
外科を代表しまして
当科の紹介を
いたします。



当科の特徴

- ①食道がん、胃がん、大腸がん、膵臓がん、肝臓がん、乳がん、胆石、ヘルニア(脱腸)、痔など、あらゆる外科領域の手術を行います。
- ②患者さんに優しい、最先端の「内視鏡手術」「ロボット手術」を行います。
- ③特に「がん」の患者さんの手術では、「待たせません」。
- ④患者さんに最適な化学療法を提案します。

外科手術

「外科手術」となると、患者さんにとっていちばん心配なことは、「痛い」「しんどい」「入院が長い」「キズが大きく残るのはイヤ」などでしょうか。当院ではこれらを克服しうる内視鏡(腹腔鏡・胸腔鏡)手術を積極的に取り入れ、昨年は緊急手術を含めて食道切除術100%、胃全摘術100%、幽門側胃切除術95%、結腸切除術85%、直腸切断術及び切除術87%、胆嚢摘出術96%、虫垂切除術(いわゆる盲腸)100%、成人鼠径ヘルニア(いわゆる脱腸)手術77%、小児鼠径ヘルニア手術100%、肝部分切除術50%と圧倒的な内視鏡



手術の割合となっており、年々その比率は高まっています。内視鏡手術には高度な技術が要求されますが、当科には日本内視鏡外科学会技術認定医が2名在籍し、安全性に十分配慮した正確な手術操作を心がけています。

がんの治療

「がん」は急速に大きくなりま

す。診断がついても手術を待っている間にもどんどん成長しますので、診断がついたときと手術予定日には病気の状態が大きく変わっていることがあります。当科では特に「がん」の患者さんは最優先に手術日程を組みますので、検査所見がそろっていれば1~3週間以内に手術可能です。

昔とちがい、転移のあるがんでも化学療法(いわゆる抗がん剤治療)をうまく行えば治すことが出来る時代になりました。当科では消化器がん、乳がんに対するガイドラインに基づいた化学療法を積極的に行っています。何十、何百とある選択肢の中から、患者さんのライフスタイル、ご希望にあわせた、出来るだけ副作用の少ない治療法を提案します。他院で手術を受けられた患者さん、他院で化学療法を行っている患者さんも受け入れ可能です。

当科では私を含めて現在10名の外科医で診療を行っています。あらゆる外科疾患に対して24時間対応していますので、何かお困りのことがあればご遠慮なく津市民病院外科へご相談ください。

(外科・消化器外科・乳腺外科 部長 光吉 明)



~そこが知りたい~ 放射線治療はどこがすごい?

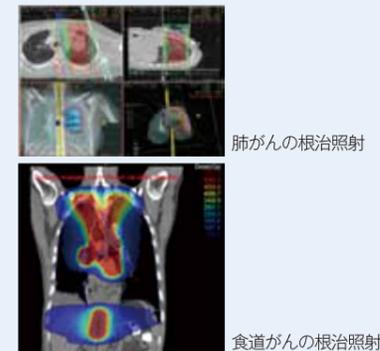


1 放射線治療部門

がんの治療は、手術、化学療法、放射線治療が三本柱となっています。放射線治療は、からだに負担をかけず、外来通院でも治療が可能です。



放射線治療計画の例



2 放射線画像診断部門

当部門では、CT、MRI、核医学(RI)などの画像診断を行っています。また、患者さんにできるだけ早く、説明できるように迅速に画像診断レポートを作成しています。

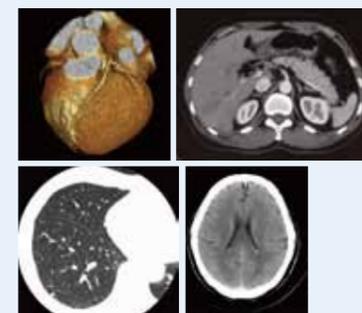
放射線治療装置(リニアック)

当院では、最新のコンピュータ技術を搭載したリニアックを導入し、高精度かつ安全な放射線治療を行っています。

その特徴の1つである、画像誘導放射線治療(IGRT)は、放射線治療時に画像情報を取得し、病変の位置を確認したり、位置誤差を補正しながら治療ができます。これにより、従来よりも正確な治療が可能となり、副作用の軽減にも繋がります。

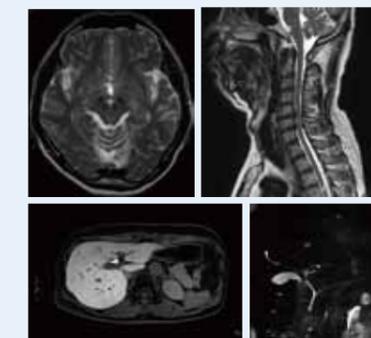
CT(Computed Tomography)

CT(Computed Tomography)は、X線の量を厳密に測定した値を元に、コンピューターで計算し、人体の断面の画像を得る検査です。わずかなX線吸収の差も検出でき、全身のあらゆる部位の診断に役立っています。



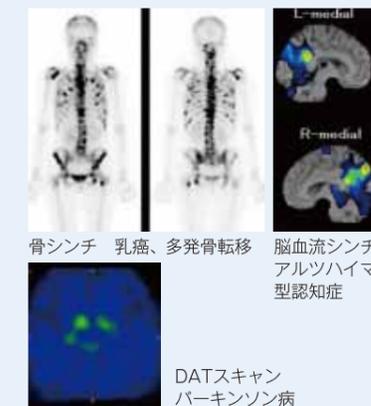
MRI(Magnetic Resonance Imaging)

MRI(Magnetic Resonance Imaging: 磁気共鳴画像)は、非常に強い磁石と電波を利用して、人体の様々な断面を撮影することができる画像検査です。そのためMRI検査では、X線による放射線被ばくはありません。



RI(Radio Isotope)

RI(Radio Isotope)検査は、放射線同位元素(RI)を注射して体内分布を診る検査です。最近ではアルツハイマー型認知症やパーキンソン病の診断ができる診断薬が開発されました。



ドクターカーナース

当院では大津市消防局が主体となり、大津赤十字病院、滋賀医科大学附属病院との3病院合同でワークステーション方式のドクターカーを運営しています。ワークステーション方式とは救急隊一隊を救急車と共に病院内に配置しています。救急指令が入ったら、救急医、看護師と共に1台の救急車で現場に向かいます。同乗する看護師は蘇生シミュレーション講習や病院前外傷救護講習、ドクターカー研修を

修了している者が対象です。これらの講習は病院内での救急看護における質の向上にも繋がります。救急医、救急隊に加え看護師も専門的な技術を習得し、傷病者を救命できるようにチームワークで取り組んでいます。これからも市立大津市民病院の救急ワークステーションの存在が少しでも大津市の救急医療に貢献できるように尽力していきます。



日常生活動作でできる かんたん転倒予防体操

～転倒予防には下肢の筋力とバランスが大切です～

下肢筋力UP運動

●立位での運動 例：歯ブラシの時間やエレベーター待ちの時間で実施



1 踵で立つ



2 爪先立ち



3 お尻を出してスクワット

●座位での運動



1 膝を伸ばす



2 腿(もも)上げ



お尻から ゆっくり座る



膝を前に曲げてドスンと座る

●歩行時



1 踵(かかと)から出して歩いてみよう



2 足幅を狭めよう



足幅が広い



すり足で歩く

下肢筋力UP運動



1 片足立ち



2 足を縦に揃えて立つ

手を離してできたらさらにGOOD!

こんにちは。健診センターです！

■いま評判の大腸CT検査★

現在、大腸がんは女性の部位別がん死亡者数第1位、男性は第3位です。しかし、大腸がんは早期発見により治る可能性が高く、そのためには自覚症状がなくても検査を受けることをお勧めしています。

大腸CT検査は、前日に検査食を摂り、少量のバリウム剤を飲んでいただくことで、当日の下剤量が400mlと、一般の大腸内視鏡検査より少なく済みす。検査時間も10～15分と短く、より簡便で安楽に検査を受けていただけます。

H29年1月、県内の病院では初めて、健康診断での大腸CT検査を開始し、6月までに約80人の方に

利用していただきました。反応としては、「下剤量も少なく楽に検査がうけられた。」と大変好評です。多くの方に是非ご利用いただけたらと思います。



検査食の例：検査前日の夕食
ビーフシチュー&クラッカー

■新しいオプション検査

○睡眠時無呼吸検査

「いびき」「日中の強い眠気」「ぐっすり眠った感じがしない」などでお悩みの方にお勧めします。小さな機械をつけて一晩眠っていただき、寝ている間の呼吸の状態を調べます。

○運動負荷心電図検査

「息切れがする」「胸が痛いことがある」など心配な方にお勧めします。運動中の心臓の状態を調べます。狭心症や不整脈の診断に有用です。検査中は循環器内科医が立ちあいますので安心、安全です。

○アレルギー検査

下記①～⑤各セットあり1セット8項目です。

検査は採血で行います。「鼻水が出る」「蕁麻疹が出る」などの兆候がある方にお勧めします。

- ①鼻炎・喘息
- ②成人アトピー
- ③食物アレルギー
- ④食餌
- ⑤吸入系

☆各検査について詳細は、ホームページもしくは健診センター(TEL:077-526-8370)までお問い合わせください。(人間ドックに追加してご利用いただくと割安となります。)



緩和ケア病棟ではこんなことをしています

- 患者さんが、人間としての尊厳を保ちながら、その人らしく最後まで生活して頂けるようケア致します
- 疼痛コントロール、症状コントロールを行い、苦痛緩和のケアを致します。
- 喫茶サービス、スープサービス、音楽会など四季折々の行事を通して、ご家族とともに穏やかな時間を過ごして頂けるようお手伝いいたします。

1 日常ボランティア

- 病棟の環境をよく理解されたボランティアさんが、配茶サービス、タオルたたみなどを行っています。

2 手作りお菓子サービス

- 月1回の病棟行事でボランティアさんにお菓子作りをしていただいています。
- お菓子作りでは、四季折々の雰囲気大切に、食の細くなった患者さまの食べやすさに配慮したものを作っています。(和菓子、洋菓子など)



3 喫茶 ひだまり

- 月2回、喫茶コーナーをオープンしています。
- 患者さん、ご家族の希望に合わせて飲物を用意し、ディールームまたは病室までの喫茶サービスを行っています。

4 いのちのスープ

- 「いのちのスープ」とは…飲みやすく、栄養があり、旬の食材を使ったスープをいいます。スープは、食材によって切る厚さを変えたり、やさしく蒸らし炒めをしたり、ミキサーをかけた後に裏ごしをしたりと、手間を惜しまない過程が素材のもつ力を最大限に引き出し、やさしくも味わい深いスープに仕上がります。
- 料理研究家の辰巳芳子先生が考案した「いのちのスープ」をボランティアさんの力をかりて、月4回提供しています。
- 辰巳先生の鎌倉の自宅で特別にスープの作り方を教わりました。(津田先生、藤田元看護局長、ボランティアさん)

5 代替療法

- 代替療法とは…現代西洋医学の領域以外のすべてのものをさす医療、健康法の総称。西洋医学を補完する有用な療法。
- 当院での代替療法…音楽療法、アロマセラピー、ヒーリングタッチ、リフレクソロジー

6 カウンセラー(臨床心理士)による関わり

- 患者さん、ご家族が不安や悩みを抱えながらもよりよく過ごしていただけるように、病棟で過ごされる日常生活を大切にしながら、患者さん、ご家族のお話をじっくりとかがっています。
- グリーフケアの取り組み遺族の方に死亡退院された3か月時に、カウンセラーからカウンセリングの案内と担当看護師からの手紙を送っています。1年に1回遺族会を開催しています。





Recommended menu

栄養部 おすすめ献立

患者さんへのアンケートで、病院食の中の「お気に入りメニュー」に選ばれた一品をご紹介します

八宝菜



【1人分の栄養量】

エネルギー	212kcal
たんぱく質	17.1g
脂質	11.7g
炭水化物	9.0g
食塩相当量	0.9g

【作り方】

- フライパンに植物油とごま油を熱し豚肉を炒める。
豚肉に火が通ったら取り出す。
- 続けていかを炒め、色が変わったら取り出す。
- 玉ねぎ・人参・タケノコを炒め、白菜を加える。
取り出しておいた豚肉といかを鍋にもどし、きくらげを加える。
- 火を弱め、Aを混ぜながら鍋に加える。
全体を混ぜ合わせ、水気を切ったうずら卵水煮・きくらげ・ピーマンを加える。
- 全体を混ぜながら、とろみがつくまで煮込んで完成。

1日に必要なエネルギーや栄養素を上手にとるために、1日3回の食事毎に、主食・主菜・副菜をそろえることが勧められています(図参照)。

八宝菜は、肉や魚介類、卵といったタンパク源を主材料とする「主菜」の

料理です。と同時に、副菜の材料である野菜やきのこも一緒にとれ、彩り良く、色々な食感も楽しめます。

1食の献立例として、ご飯、長芋の和え物、チンゲン菜のスープ、果物(柿1/4個)などを組み合わせてみてはいかがでしょう。

なお、エネルギーや油を控えたいときは、豚肉は脂身の少ないもも肉やヒレ肉を使い、さらに豚肉やいかは油で炒めずに、さっと熱湯に通すとよいでしょう。

栄養部の紹介

栄養部は、診療部長1名と管理栄養士5名、給食委託職員で構成されています。

主な業務は、入院患者さんへの食事提供と、外来通院や入院患者さんへの栄養指導で、栄養サポートチームなど様々なチーム医療にも参加しています。

より多くの患者さんに楽しんでもいただける食事を提供し、栄養指導や栄養管理の面でサポートできるよう努めています。



栄養指導室(本館2階)

主菜
体の組織を作るもの

主食
エネルギーになるもの

副菜
体の調子を整えるもの

毎食とりたい3つのお皿

【材料】(2人分)

豚肉もも脂身付	90g
いか	40g
白菜	80g(1枚)
玉ねぎ	40g(1/4個)
タケノコ水煮	20g
人参	20g(1/10本)
ピーマン	1/2個
うずら卵水煮	6個
きくらげ	4枚
植物油	小さじ1杯
ごま油	小さじ1/2杯

A

砂糖	小さじ2/3杯
しょうゆ	小さじ2/3杯
中華だしの素(固形)	小さじ1/2杯
鶏がらスープの素	小さじ1/6杯
片栗粉	小さじ1杯強
水	カップ1/2杯

【下準備】

- 豚肉は一口大に切る。
- いかは皮を除いて切り込みを入れ短冊切りにする。
- 白菜・玉ねぎ・ピーマンは食べやすい大きさに切り、人参・タケノコは短冊切りにする。きくらげはぬるま湯でもどし一口大に切る。
- 人参・タケノコ・ピーマンは下ゆでしておく。
- Aを合わせて混ぜておく。

チーム医療～「チームYUKETSU」結成

主治医から「治療のために輸血が必要です」といわれたら、ニュースで「輸血ミス」「輸血製剤によるウイルス感染」ってあったな～と不安になりませんか?

ここで、当院の安全な輸血体制を紹介いたします。

1. 輸血についての説明と同意

担当医が輸血の必要性やリスクを説明し同意をしていただきます。

2. 輸血前の検査

患者さんの血液と使用する輸血製剤の「適合性を確認する検査」を行います。検査には、血液型検査と不規則抗体検査、交差適合試験があり、異型輸血や溶血性輸血副作用を防止するために実施しています。

3. 輸血製剤の確認

準備した輸血製剤は、臨床検査技師と病棟スタッフが2人で読み合わせを行い、病棟でも医師と看護師が読み合わせを行い確認した後、電子カルテの患者認証を用いて再度確認します。

4. 輸血の実施

患者さんの様子を見ながらゆっくりと輸血を開始します。輸血副作用の早期発見や治療に努めるために、医師または看護師は輸血開始5分間と15分後、そして終了した後に患者様の状態を確認します。

5. 輸血後感染症検査

輸血製剤の安全性は高くなっていますが、わずかにウイルス感染のリスクがあります。非常にまれなことです。ウイルス感染を早期に発見するために

「輸血後感染症検査」を行っています。

6. チーム医療

今年度より医師と認定輸血検査技師ならびに学会認定輸血看護師が相互に協力し合い、院内の輸血医療の安全性と質のさらなる向上を目的に「チームYUKETSU」を結成しました。今以上に安全な輸血療法に取り組むとともに、輸血後の副作用や感染症対策についてもきめ細やかな対応をめざしていきたいと思っております。



8A病棟
学会認定臨床輸血看護師
岩野安希子・竹田さおり

輸血療法委員会 委員長
外科 光吉 明

輸血管理室
認定輸血検査技師
松井まり子・三島賀美

輸血管理室 室長
内科 中尾 光成



院内コンサート Hospital concert

コンサートを開催しています!

当院では季節に合わせた院内コンサートを開催しています。たとえば夏だと「たなばたコンサート」、冬だと「クリスマスコンサート」といった感じです。

「たなばたコンサート」では、彦星と織姫の再会を後押しするかのようにつきり雨も上がり、美しい音色がみなさんの願いを乗せて、空高くまで届いたことと思います。

ヴァイオリン、フルート、ピアノによるソロやデュオ、アンサンブルでは、テレビなどで一度は耳にしたことがある曲の演奏に、会場のみなさんもメロディーを口ずさんだり、

リズムをとったりして楽しんでおられました。

最後は全員で「琵琶湖周航の歌」を合唱し、笑顔でコンサートを

締めくくりました。今後も患者さんをはじめ、皆さんに喜んでいただけるコンサートを開催してまいります。市立大津市民病院 チーム フィッシュ

